

「私たちのちかい」 発布される



季刊

覚法寺

〒862-0956

熊本市中央区水前寺公園1-25

電話 (096) 383-4874

FAX (096) 383-3050

kakuhouji@eagle.ocn.ne.jp

<http://www.facebook.com/kakuhouji>

私たちのちかい

一、自分の殻に閉じこもることなく

穏やかな顔と優しい言葉を大切にします
微笑み語りかける仏さまのように

一、むさぼり、いかり、おろかさ

に流されず
しなやかな心と振る舞いを心がけます
心安らかな仏さまのように

一、自分だけを大事にすることなく

人と喜びや悲しみを分かち合います
慈悲に満ちみちた仏さまのように

一、生かされていることに気づき

日々に精一杯つとめます
人びとの救いに尽くす仏さまのように

ご本尊は本山から

お迎えしましょう

ご本尊について
お問い合わせ

参拝部
覚法寺

☎075(371)5181 まで
☎096(383)4874 まで

ご門主の教書「念仏者の生き方」を、より日常生活の中で具体的に実践してもらうために、「私たちのちかい」が昨年十一月二十三日の「秋の法要」で発布されました。これは四か条の条文になっております。

以下「私たちのちかい」について
ご親教の原文。

私は伝灯奉告法要の初日に「念仏者の生き方」と題して、大智大悲からなる阿弥陀如来のお心をいただいた私たちが、この現実社会でどのように生きていくのかということについて、詳しく述べさせていただきます。このたび「念仏者の生き方」を皆様により親しみ、理解していただきたいという思いから、その肝要を「私たちのちかい」として次の四か条にまとめました。

一、自分の殻に閉じこもることなく
穏やかな顔と優しい言葉を大切にします

一、むさぼり、いかり、おろかに
流されず

しなやかな心と振る舞いを
心がけます

一、自分だけを大事にすることなく
心安らかな仏さまのように



ご門主様

この「私たちのちかい」は、特に若い人の宗教離れが盛んに言われております。今日、中学生や高校生、大学生をはじめとして、これまで仏教や浄土真宗のみ教えにあまり親しみのなかった方々にも、さまざまな機会で唱和していただきたいと思っております。そして、先人の方々が大切に受け継いでこられた浄土真宗のみ教えを、これからは広く伝ちの使命であることに心刻み、お念仏申す道を歩んでまいりましょう。

人と喜びや悲しみを分かち合います
慈悲に満ちみちた仏さまのように
一、生かされていることに気づき
日々に精一杯つとめます
人びとの救いに尽くすさま
のように

住職雑記

昨年十二月、秋の法要にてご門主から「私たちのちかい」が発表されました。▼これは殺伐とした現代社会に生きる私たち、特に若者に心得てほしいという気持ちから発せられたものだそうです。▼念仏者の生き方、これを私たちがどのように受け取り生きるべきか。差別的抑圧・格差と貧困・武力紛争または戦争・環境破壊など、これらの根本原因はそれぞれの自己の中にある煩惱によるものであり、地球上での諸問題に對して求められる、個々が誰でもできる心構えが記されています。▼4か条の中には、三毒の煩惱など無明煩惱の身である自覚そして小欲知足・和顔愛語など念仏者として生きる大切なキーワードが優しい表現で組み込まれています。▼そして特徴的なのは4か条全てに「仏さまのように」という表現がなされています。ご門主は「念仏者の生き方」にて、「仏さまの真似事とさせていただく」という事を訴えています。私たちは今この世で覚者ともいふべき「仏」になることはできないが、せめて仏さまのような振る舞いを意識して日常を送らせていただくという事です。

阿弥陀堂内陣の 修復工事と御遷仏法要

「宗門総合振興計画」事業の一つとして、先月十二月十八日より、本願寺の本堂である国宝阿弥陀堂が修復工事に入りました。修復完了は約三年後、2022年の三月となるそうです。すでに本願寺では国宝の飛雲閣と唐門が順次修復工事に入っており、これで現在三物件目の修復工事となりました。その事に伴い2022年の三月まで、阿弥陀堂内の一部(内陣部分)が閉鎖となります。

※本山では、2023年頃を予定に、親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年の大法要が計画されております。覚法寺でも本山の法要後に、記念法要を行う予定です。



阿弥陀如来像ご移動

「宗門総合振興計画」ご懇志進納状況の報告⑤

本山からの依頼額九三〇万円のうち十二月一日現在、四一九件・七四九万円のご懇志をお預かり致しました。篤くお礼申し上げます。残り一八一万円で達成です。進納期限は二〇二〇年三月三十一日までです。ご進納がまだの方は、どうぞご協力のほど宜しくお願い致します。

寺族婦人会

平成三十年四月十三日・十四日、恵信尼公(親鸞聖人の妻)七五〇回忌法要が西本願寺にて勤修されました。その御縁により十一月に熊本教区寺族婦人会の研修旅行に参加し、越後の御旧跡巡りで恵信尼様のゆかりの地を訪ねてまいりました。ちょうどこの時は紅葉が綺麗でしたが、冬になると極寒の地となり、私の身長以上の雪が積もり、辺り一面雪景色となります。親鸞聖人が流罪で上陸された居多ヶ浜は、日本海の冷たく強い風により、木々が斜めに傾むき、葉も一定の方向にしかついていません。恵信尼様は、この地で親鸞聖人を支えられ、飢饉などの苦しい生活の中でも子ども達を立派に育てられました。お二人は、日々の生活の中でお念仏に生きる事の有り難さを私たちに伝えて下さいました。恵信尼様の事を知れば知るほど奥深く、今の自分自身を見つめ直す良い経験であったと思います。(坊守 大谷祥子)



恵信尼様

居多ヶ浜
居たがはま

ダーナ基金だより

日頃よりダーナ基金への募金にご協力ありがとうございます。今回は北海道地震災害として北海道教務所、またユニセフ協会のシリア難民資金へ、それぞれ義援金として合計六万円を送金致しました。今後ともあなたのささやかなお気持ちでどうぞお届けください。お寺の本堂入り口に募金箱を設置しております。(はちすの会ダーナ基金係より)

設計施工総合建設業

一級建築士事務所

株式
会社

竹内工務店

代表取締役会長 竹内 義雄
代表取締役社長 竹内 浩二

本社/熊本市東区尾ノ上4丁目20-11

TEL(096)365-3366(代)

FAX(096)369-0562

鹿児島営業所/鹿児島市五ヶ別町1734

TEL(099)265-9619

FAX(099)265-9619



創業60年

不動産の賃貸、売買、管理、相続、全て扱っています。

(株)国府不動産

代表取締役 小川 道雄

〒862-0949 熊本市中央区国府1丁目13-5(国府電停前)

☎(096)364-6618



ただ一人皆勤賞の園田尚典さん。
本年も健康に気をつけて頑張っ
てください。



12月6日が、ちょうど60
歳のお誕生日の田中守義さん。
再雇用も決まり、重ねておめ
でとうございます。



前年に引き続き、「仏説無量
寿経」をみんなで読みました。
十二月は、仏社会員以外の方
も交えて、忘年会をしました。

熊本仏教社年会

覚法寺仏教婦人会

蓮華の会だより

私達の主な活動

・ ・ ・ (秋より初冬へ) ・ ・ ・

10月



●例会兼、一日研修旅行

田原坂見学と懇親会(玉名)

今回は仏社と門信徒の方々との合同でした。朝、本堂にて全員で
お勤めの後、懇親会会場となるホテルのバスで出発。参加者の
三嶋氏の説明によりドラマ等で話題の“西郷どん”一派と政府
軍との凄まじい戦いに思いを馳せました。日本が近代国家へと
移行する中、歴史的に大きく悲しい出来事でした。さて、お昼は
ホテルにて温泉やおいしいお料理等々。帰路は“道の駅”でお土産
買い。会員以外の方々とも触れ合って楽しい一日旅行でした。



ホテルの前で

11月



●例会

●報恩講のお聴聞と、お斎作りご奉仕

お斎作りは元気な会員さんと門信徒有志さん々とで和気合々の
作業で、いつもながらの“お味”でお膳が準備できましたが……
参詣者が例年より少なく残念でした。門信徒の皆さん、お寺へ
お詣りにおいで、私達が心を込めてお作りしたお斎の席へ
どうぞ。お待ちしております。



報恩講のお膳

12月



●例会(蓮華の会報恩講)

11月に厳修されました報恩講法要中、お斎ご接待で聴聞できな
かった会員さんを中心として、住職さんのお勤め、ご俗性拝読
(親鸞聖人伝記)、法話等で改めて聖人が私達に残して下さい
「念仏」の教えに遭わせていただきました。その後、仕出し屋さん
によるお斎で楽しい語らいタイム。

●お煤払いご奉仕

仏社との合同で仏具のおみがきや堂内清掃。



正信偈お勤め

長年と一緒に聴聞を重ねてまいりました



尾関 志保路 様(10月8日)

吉本 ソヨ 様(12月3日)

がお亡くなりになりました。

お坊さんの一言

鏡に映った自分の姿

鏡に映った自分の姿を見て
何を思いますか？ほとんどの
人が、服を直したり髪を直し
たりあるいは、自分の顔を見
てシワが増えたとか最近、
太ったとか思われたりしま
す。でも私の内面まで写し出
す鏡があったなら欲しいと思
いますか、なぜなら外見を隠
すことが出来ても、内面まで
隠し通すことはできません。
仏様の教えは私達の心を写し
出す鏡です。私達は仏様の教
えを聞くということがなければ
自分の本当の姿を知ること
は出来ません。「今日も、ま
た、まっさらな一日がはじま
る」と法語があります。仏様
のお心をいただき毎日、意義
のある生活をさせていただき
たいものです。

自分の心が鏡だ
映るなあ？



光寺

一〇〇日参りをしてみませんか?
 ことしは四名の方が、一〇〇日以上のお参りでした。
 一つ大きな目標を立てて、朝からお参りください。

総参拝皆勤賞 定例法座皆勤賞

栗津 美代子さん
 田中 耕一さん
 栗津 美代子さん
 井上 登美子さん
 入江 緑さん
 工藤 えり子さん
 田中 耕一さん

2018朝のお参りベスト10
 (12月10日現在)

1	栗津美代子さん (344)
2	入江 緑さん (308)
3	榮田 恵子さん (254)
4	有田 勇さん (153)
5	園田 尚典さん (47)
6	酒井 澄子さん (21)
7	田中 耕一さん (16)
8	三嶋 統吾さん (10)
9	川本 さん (8)
9	森川 さん (8)

お寺のお宝!!

毎年、朝のお寺参りベスト10の常連で、常にナンバ1の栗津美代子さん。それもそのはず、平成二十六年の十月から、連続参拝記録が千五百日を超えました。



栗津美代子さん

覚法寺衆徒の原田昭義さんは、僧侶として百日連続のお勤めをされました。職員は誰一人続けることのできない偉業です。見習わねば。次の目標をめざして頑張ってください。



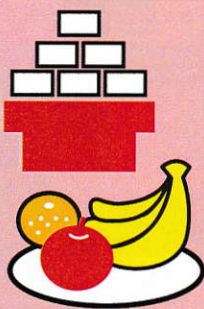
原田昭義さん

真宗豆知識講座

・真宗のお仏壇について②
 浄土真宗では、原則的にお酒や肉類をお供えすることはありません。

なぜなら、お供えは、故人の霊にするものではなく、仏様に捧げる訳でもないからです。お供えは、仏様に對しての感謝の気持ちをあらわすと共に、故人とのお縁の繋がりを思い偲ぶもので、決して仏様や故人方が「あの世で食べる」ものではないのです。

ですので、「お腹が減らないように」に「渴きに苦しまないように」にお供えをするのではなく、私達をお救い下さる阿彌陀様と、仏様となって私達を見守って下さる故人へ感謝の気持ちをあらわすと共に、そのお縁を偲ぶ思いで今後のお供えをしていくって頂ければと思います。(不二見)



今年の抱負

あけましておめでとうございます。6月からの半年間ではありますが、大変お世話になりました。4年ぶりに法務に携わらせていただき、慣れな生活も変わり、いろいろなこと、忘れていたことなど多々あり、あつという間の半年間でありました。振り返ってみますと、お盆、お彼岸、報恩講と様々な法要にも出勤させていただき、更に日々お参りを繰り返していると、段々お念仏の生活が当たり前となつていき、以前より休みの日などに自坊のお参りをすることも増えたように思います。今年は更にお念仏に浸った生活を送れたらと思います。2019年もよろしく願います。(伊津野)



毎月16日7時
 お寺に参ろう。

(宗祖親鸞聖人の御命日)
 門信徒総参拝



建築企画・設計・監理

有限会社

三島建築事務所

代表取締役 三嶋 統吾
 一級建築士

〒862-0972 熊本市中央区渡鹿3丁目8番28号

TEL 096-366-5566

寺院仏具修復・納骨堂設計・施工
 (宗教用具専門店) 仏壇・仏具・修復・修理



お仏壇の令掌

〒860-0073 熊本市西区島崎5丁目4-37
 (三軒屋バス亭前)

TEL FAX 096 (359) 7720